

2022年度 指定管理者導入施設総合評価表

【施設概要】		所管課	文化スポーツ課
施設名	須坂市勤労青少年ホーム創造の家		
所在地	須坂市臥竜六丁目25番1号		
施設設置目的	勤労青少年及び市民の学習、交流、余暇活動の場を提供することにより市民福祉の増進に資するため		
施設概要・設備	鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積 912.34㎡ 軽運動室99㎡、料理実習室50㎡、音楽室45㎡、創造の家事務室17㎡、 スポーツ協会事務室(相談室)28㎡、講習室80㎡、会議室45㎡、 集会室(1)64㎡、集会室(2)42㎡、談話コーナー ※スポーツ振興係事務室(図書室)35㎡は指定管理の対象外		
建設年月	1979年02月	指定管理 開始年月	2015年4月

【指定管理概要】

指定管理者名	一般社団法人須坂市スポーツ協会		
指定期間	2020年4月1日～2025年3月31日まで(5年間)		
業務内容	(1) 施設の管理及び運営に関する業務 (2) 施設等の維持管理に関すること (3) 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 勤労青少年の保護及び福祉の増進を図るため実施する事業に関する業務		
職員体制	常勤:4名 合計:4名		
(専門職、役職等内訳)	事務局長兼創造の家館長、事務局次長、書記2名(専任1名、兼任1名)		

1 施設利用状況

項目	単位	目標値	実績			対前年比	対目標値
			2020年度	2021年度	2022年度		
利用者数	人	コロナ禍により 設定していない	3,438	3,858	5,190	134.5%	
特記事項	○ 2022年度を通して、第6波、7波、8波と新型コロナウイルスの感染拡大の最中ではあったが、施設利用休止はなく、利用者数は回復傾向となった。また、増加のその他理由として、8月初旬に須坂市が実施した軽運動室の鏡の増設により、2021年度実施の一部床張り替え工事と合わせて更に使い勝手が改善され、新規利用団体(ヨガ等)が加わったこと等が挙げられる。						

2 収支の状況

単位:千円

指定管理者				市			
科目		予算額	決算額	科目		予算額	決算額
収入	指定管理料	11,850	11,850	収入	使用料・手数料		
	貸館使用料	327	453				
	参加料	517	294				
	雑収入	63	63				
					その他		
収入計		12,757	12,660	収入計		0	0
支出	人件費	5,787	5,774	支出	指定管理料	11,850	11,850
	需用費	2,978	2,915		修繕費	221	209
	役務費	2,257	2,215		工事請負費	183	183
	使用料及び賃借料	251	248				
	報償費	1,472	1,302				
	旅費	12	5		その他		
	支出計		12,757		12,459	支出計	
管理事業損益 (a)		0	201	管理事業損益		-12,254	-12,242

損益 (a)+(b) 管理事業損益+自主事業損益	201
-----------------------------	-----

特記事項	支出の増額科目は、物価高騰の影響によるもの。
------	------------------------

3 自主事業の実施状況

自主事業実績	<p>2022年度 結婚支援事業</p> <p>◎ BBQ交流会、DAY CAMP & レザークラフト体験</p> <p>○ 須坂市の少子化対策の一助とするため、結婚を希望する独身者に出会いと交流の場を提供し、地域貢献を図る目的で、創造の家の開放的な松林のロケーションを活用し、10月8日に「BBQ交流会」、11月19日に「アウトドアで恋活・婚活 in Souzou DAY CAMP & レザークラフト体験」を開催した。</p> <p>BBQ交流会は、レクリエーション(ポッチャ・ダーツ・スラックライン等)とバーベキューで食を楽しみながら交流し、DAY CAMP体験は、ロープワーク、タープ設営、火起こし & 石窯ピザ体験、レザークラフトカップホルダづくり等を実施した。</p> <p>若者達が楽しく学び、交流し、イベント終了後も焚火の周りで語り合う姿が印象的だった。</p> <p>● BBQ交流会 参加者 8人 男:4人 女:4人 ● DAY CAMP & レザークラフト体験 参加者 11人 男:7人 女:4人</p> <p>令和4年度 須坂市スポーツ協会シニア等一般対象事業</p> <p>◎ 市民健康教室</p> <p>○ 前期6教室(ゴルフ、マレット、太極拳、イスでストレッチ、タイ式ヨガでリラックス、Knock Down)を5月21日から8月31日まで47回開催した。健康で快適に日々を過ごし健康長寿につなげること、コロナ禍で蓄積した心身のストレスや運動不足を解消することを目的とした。募集開始時は、新型コロナウイルス感染症拡大時(第6波)であったが、どの教室も参加者が積極的かつ楽しそうに取り組んでいる姿が見受けられた。終了後、後期も引き続き同じ講座を企画してほしいとの声も多数あった。</p> <p>● 受講生 47人 男:9人 女:38人 ● 参加延べ人数 287人</p> <p>○ 後期3教室(免疫カアップエクササイズ、ねこ背改善ヨガ、心と体を元気にムエ体操)を10月6日から2月16日まで24回開催した。健康で快適に日々を過ごし健康長寿につなげること、コロナ禍で蓄積した心身のストレスや運動不足を解消することを目的とした。出席率が75%を超え、体を動かしたいとの意識の高さ、健康への関心の高さがうかがわれた。どの教室も参加者が積極的かつ楽しそうに取り組んでいる姿、教室終了後の満足された様子もうかがえた。来年度も、引き続きニーズに合った教室を企画していきたい</p> <p>● 受講生 33人 男:2人 女:31人 ● 参加延べ人数 213人</p> <p>◎ 第8回創造の家秋のフェスティバル、Winter Party</p> <p>○ 第8回創造の家秋のフェスティバルは、実行委員会において協議の結果、新型コロナウイルス感染状況を考慮し中止とした。</p> <p>Winter Partyは、9月から募集したが、参加者がいなかったため中止とした。</p>
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

単位:千円

自主事業名	収入	支出	備考
BBQ交流会	25	25	収入:参加料等、支出:消耗品費等
DAY CAMP & レザークラフト体験	75	75	収入:参加料等、支出:消耗品費等
創造の家秋のフェスティバル	33	33	収入:参加料等、支出:消耗品費等
市民健康教室	460	460	収入:参加料等、支出:消耗品費等
合計	593	593	自主事業損益(b)
			0

4 利用者評価

①利用者要望の把握	(1)利用者要望の把握方法(時期・方法・回答数等)
	<p>○ 時期・・・随時</p> <p>○ 方法・・・施設利用者から直接聞き取り調査をし、所定のアンケート用紙に記入</p> <p>○ 年2回の管理施設専門委員会(委員5名全員が施設利用者)における意見聴取</p>
②利用者からの声	(2)調査等の結果
	○ 施設利用手続き、職員対応に関する苦情はなかった。
	(1)良好とする評価
③対応措置	○ 軽運動室を利用させていただいているが、創造の家のコロナ感染予防対策として、大型扇風機、空気清浄機など設置してもらいとてもありがたい。施設職員の皆さんに、いつも部屋の消毒など非常に細かくやって頂き大変感謝している。またクラブとしても、練習後にイス・机、卓球台等の消毒を行なっているのでより安心して利用させていただいている。
	(2)苦情・改善の要望
	○ 難しいと思うが、市の各施設にエアコンが設置されているかは存じ上げていないが、活動中毎回非常に暑く汗をかきながら利用しているので、軽運動室に大型エアコンを設置していただきたい。
	○ 軽運動室のエアコンについては、須坂市で2023年度に実施。

5 項目別評価			評価	評点
1	指定管理者の健全性	団体の財務状況(※営利企業のみ)や組織体制は、他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か	○	2
2	施設利用状況	施設の利用者数や稼働率は適正であるか	◎	3
		施設の利用者数や稼働率を維持、向上させるための取り組みや工夫がおこなわれているか	○	
3	財務状況・経理	指定管理業務会計と自主事業や団体の会計を区別して、適正に管理しているか	○	2
		収支予算に基づき、予算の範囲で適切な支出が行われているか施設運営に不要な経費の支出がないか	○	
		収入増加への取り組みを行い、その効果はあったか※無料施設は対象外	○	
		経費節減への取り組みを行い、その効果はあったか	○	
		経理帳簿や伝票等の保管、現金の取扱は適切に行われているか	○	
4	施設運営管理	協定書に定められた閉館日、開閉館時間等を遵守しているか	○	3
		日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか	○	
		利用者が快適に利用できるよう、施設の清掃や整理整頓が行われているか	◎	
		施設の備品を適切に管理しているか	○	
		必要な修繕は適切に実施され、市に報告しているか	◎	
		協定書等で定められた事業計画・報告書、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか	○	
		業務の第三者委託の範囲、理由、委託先は適当であるか	○	
		省資源・省エネルギー、廃棄物減量等環境への配慮がされているか	○	
5	職員体制	施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか	○	2
		職員の資質・能力向上を図る取り組みや研修がなされたか	○	
		労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか	○	
6	利用者サービス	利用者に対する職員の接客マナー(言葉づかい、態度、服装等)は適切か	○	2
		障がい者、子ども、高齢者等の利用に配慮した管理・運営がなされているか	○	
		特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか	○	
		地域や地域住民との交流・連携に関する取り組みを実施し、地域交流の支援を実施しているか	○	
		アンケート調査や意見箱等により、利用者からの意見や苦情等を把握し、施設運営に反映する仕組みが整っているか	○	
7	安全対策・危機管理	危険箇所の把握や対応マニュアルの策定等、事故防止や安全確保のために必要な対策が講じられているか	○	2
		事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	○	
		必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求の対応措置が講じられているか	○	
		利用者名簿等の個人情報適切に管理されるとともに、職員研修の実施等、漏洩防止の対策が講じられているか	○	

合計点	16 点
総合評価	A

評点

- ・各項目の評価に◎があり、その他は○…3点
- ・各項目の評価がすべて○…2点
- ・各項目の評価に△があり、×はない…1点
- ・各項目の評価に×がある…0点

総合評価

A (優れている) 合計15点以上

B (適正) 合計14点

B' (若干の改善が必要) 合計11点~13点

評価基準

◎ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の適切な実施かつ期待以上の成果。

○ … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業が適切に実施されている。

△ … 協定、事業計画に基づく管理運営の一部が予定どおり実施されていない。

× … 協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が行われていない。
市の指導を受けても改善が図られない。

6 指定管理者による自己評価

(1) 施設利用者数について

須坂市スポーツ協会が創造の家指定管理業務を受託して、2023年3月末で8年が経過する。この間の施設利用者数を概観すると、第一期目の5年間は、2015年度9,344人、2016年度10,121人、2017年度9,763人、2018年度10,423人、2019年度10,329人と、順調に推移して来た。2018年度の施設利用者数は、市が施設を直営管理していた2014年度の6,414人と比べ、1.63倍となっていた。

一方、第二期の2年間は、コロナ禍の影響を大きく受けた。

2022年度の利用者数は、1ページ記載のとおり5,190人と2021年度対比134.5%となったが、コロナ禍前の2019年度の5割の数字となっている。

これは、市による施設改良工事(軽運動室床張り替え等)に伴う使い勝手の向上と、安全・安心な利用のために、毎朝30分かけて全職員で全館設備・備品の消毒を実施したことによる安心感、利用者の立場に立った丁寧な窓口対応等が、回復の一助になっているものと思われるが、以前の水準までは回復していない。

(2) 今後の課題について

まずは、大幅に減少した施設利用者を回復することが課題であるが、施設管理業務と事業推進・運営業務の基本目標に沿って運営をして行くことが大事である。今後も、①施設利用者が常に安全・安心・快適(気持ち良く)に施設を利用できる環境を整備すること。②利用者満足度を向上させ、利用者の拡大・利用率を向上させることの2つの目標を念頭に、施設の適切な管理・運営に努めたい。

その為には、職員体制を含め、時間外勤務・休日勤務など、仕事量と品質について市と協議する必要がある。

(3) 次年度以降の取り組みについては、以下の対策を講じながら適切に管理運営を行っていきたい。

- ① 40年を超える若者事業のノウハウを活かし、婚活事業を継続、発展させることにより、更に地域社会に貢献すること。
- ② 今まで創造の家を利用している既存の利用者への対応(職員が笑顔で接客・対応をする、各部屋のコまめな清掃・消毒を行い、安心・安全に施設利用していただく為の施設管理)を更に心がけ、また新規利用者の開拓のための広報等(HPでの誘客、施設利用用途の拡充等)を充実させること。
- ③ 主催事業の勤労青少年対象のニーズにあった新規教室を立ち上げ、より多くの若者に受講者またサークル参加者として利用いただくこと。
- ④ 自主事業で多くの一般市民の方々に施設を知ってもらい利用いただく為に、より魅力のあるイベント、教室等(秋のフェスティバル、市民健康教室、若者の出会いのイベント等)を開催すること。
- ⑤ 若者一辺倒ではなく、40歳を超える市民の利用の為、また、職員の働き方改革の為休館時条例改正を検討してほしい。

7 市による総合評価

(1) 今年度の取り組みに対する総合評価

施設の管理状況は概ね良好

毎朝、職員の出勤時には、館内清掃、整理整頓を実施しており、古い施設ではあるが、清潔感のある環境が保たれている。

施設の修繕箇所についての連絡、業者対応等、迅速丁寧な対応報告がされている。

コロナ対策を十分実施していただく中で、アフターコロナに向けた取り組みを適切に行い前年度比で利用者数が134.5%と増加している。